

かけはし
虐待防止研修

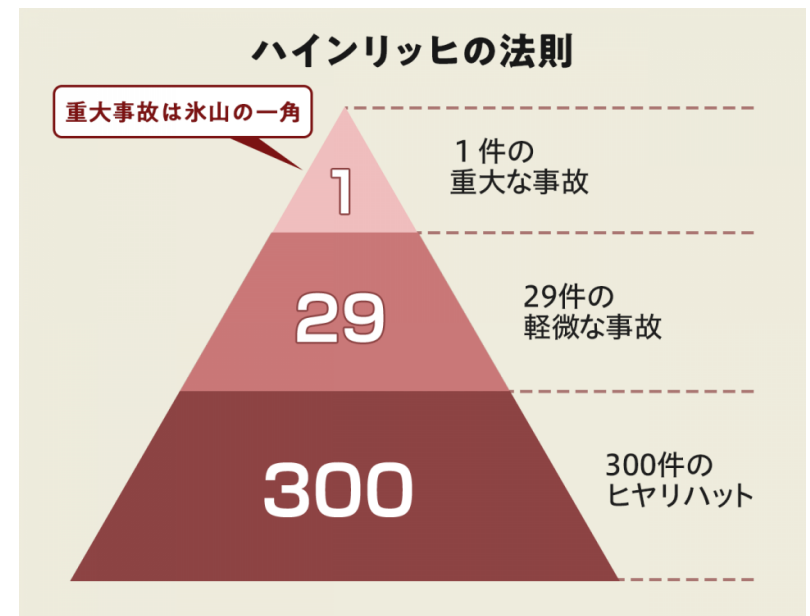
「ヒヤリ・ハット」と その報告方法について

認定NPO法人 東京盲ろう者友の会 事務局長
かけはし 管理者
前田 晃秀

「ヒヤリ・ハット」とは？

- 「ヒヤリ・ハット」とは、重大な事故に直結する一歩手前の出来事のこと
- 思いがけない出来事に「ヒヤリ」としたり、事故寸前のミスに「ハッ」としたりすることが由来
- 1件の重大な事故の背景には、300件の「ヒヤリ・ハット」がある（ハインリッヒの法則）

「ヒヤリ・ハット」への
適切な対応が
重大な事故を防ぐ



かけはしにおける「ヒヤリ・ハット」の定義

- 「ヒヤリ・ハット」とは、重大な事故、および虐待に直結する一歩手前の出来事のこと(＝不適切な支援)

接触・つまづき・転倒・転落、誤嚥・誤飲、
暴力・暴言、交通事故、個人情報漏洩など

- 「事故」「虐待」は、利用者本人の心身に、程度を問わず、傷を負わせたり、その可能性が高い場合をいう

「ヒヤリ・ハット」の例

- 盲ろう者の足元を見ずに電車に乗り込んだら、盲ろう者が段差につまづき、白杖が他の乗客の靴にあたった（つまづき・接触）
- 盲ろう者と階段を降りる際、サインを伝え忘れた結果、盲ろう者がよろけて、階段を踏み外しそうになった。（転倒・転落）
- 式典会場で渡されたお弁当を食べる際、バランが添えてあることを伝えなかったため、盲ろう者がバランを口に入れてしまった。（誤嚥・誤飲）

- 盲ろう者に同じことを何度言っても伝わらない。いらだててしまい、「もう何回も言ってるじゃないですか！」と強い口調で感情を表に出してしまった(暴力・暴言)
- 狭い歩道を盲ろう者と移動中、前方から自転車が走ってきた。速度を緩めると思い、そのまま歩いていたら、盲ろう者のすぐ脇を猛スピードで自転車が通りぬけた(交通事故)
- 盲ろう者の通院後、自宅まで送り届けた。その直後、盲ろう者の母親に呼び止められ、「お医者さんは何て言っていました？」と聞かれ、診察の内容を話しそうになった(個人情報漏洩)

「ヒヤリ・ハット」の報告の意義

- 重大な事故や虐待を防ぐためには、「ヒヤリ・ハット」に気づき、その都度、改善策を練ることが重要
- 「ヒヤリ・ハット」を記録し、そのときの状況や対応を明確にしたうえで、他者からの視点も含めて検証する
- 「ヒヤリ・ハット」の事例を研修などで他の従業者と共有することで、自分自身の実践を振り返り、支援の質の向上につなげられる

「ヒヤリ・ハット」報告の方法

- 「ヒヤリ・ハット」が発生したら、その日のうちに報告
- Webフォームから報告（電子メール等での報告も可）



<https://forms.gle/4PUCnpxPQRkCLicn9>

「事故」については
状況が落ち着いたらすぐ
電話・メール等で報告を！



The screenshot shows a Google Form titled "かけはし「ヒヤリ・ハット報告書」". The form is in Japanese and includes the following sections:

- Introductory text:** 怪我や事故にはならなかったが、怪我や事故に繋がる可能性のあった事象（ヒヤリ・ハット）について、詳細をご記入ください。重大な事故を未然に防ぐための取り組みとして、ご協力をお願いします。
- Google login link:** Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細
- Required field indicator:** *必須
- Form fields:**
 - 氏名 * (Name): 回答を入力
 - メールアドレス * (Email): 回答を入力
 - ヒヤリ・ハットの詳細についてお伺いします (Details about the near-miss or accident): A checkbox is present.
 - 利用者氏名 * (User Name): 回答を入力
 - 業務日 * (Business Day): 日付 (Date) field with format yyyy/mm/dd.

「ヒヤリ・ハット」報告の内容

- 氏名
- 利用者氏名
- 業務日
- 発生場所(例: ○○店内、△△駅周辺 / 縁石、下り坂)
- ヒヤリ・ハット発生時間(おおよその時刻)
- ヒヤリ・ハットの種類(転倒、転落、つまづき、接触、誤嚥・誤飲、暴力・暴言、交通事故、個人情報漏洩、その他)
- ヒヤリとした内容
- ヒヤリ・ハット時の対応
- 再発(未然)防止のための改善策(今後同様の状況を起こさないために、もしくは、事故に繋げないために対応方法)

「ヒヤリ・ハット」報告の例

発生場所	JR線浅草橋駅の1番線ホーム 2両目付近
ヒヤリ・ハットの種類	つまづき、転倒
ヒヤリとした内容	電車が到着し、乗客の降車を確認し、電車に乗り込もうとした。その際、利用者に乗車することを伝えず、また、ドアの前で立ち止まらなかった。そのため、利用者がホームと電車の間の溝につまづき、転倒しそうになった。
ヒヤリ・ハット時の対応	そのまま乗車した後、けがや痛みはないかを確認し、謝罪した。本人は「大丈夫」と言っていたが、その後、本人からの話しかけが減り、落ち込んでいるように見受けられた。歩行については、歩き方や速度などに変化は見られなかった。
再発防止のための改善策	電車の乗り降りの際は、動き始めるまえに情報提供をし、本人の動きを注視しながら、移動介助をする。

「ヒヤリ・ハット」報告の書き方のポイント

- 客観的に書く

見たまま、聞いたまま、客観的な事実を書く。主観を書くときは、それがわかるようにする

- その後、本人からの話しかけが減り、落ち込んでいるように見受けられた。
- × その後、本人の機嫌が悪くなった。

- 誰が読んでも理解できるように書く

関係者でなくてもわかるように、略称や専門用語、多義語は使わずに、書くようにする。

- JR線浅草橋駅の1番線ホーム 2両目付近
- × 浅草橋の奥のホームの後ろ

まとめ

- 「ヒヤリ・ハット」は、「従業者個人のミス」のみを問題とするものではありません。事業所としての「利用者の状況把握の不足」、「従業者への技術の伝達の不足」なども、発生の原因として考えられます。
- 業務後に、自分の支援の中で「ヒヤリ・ハット」がなかったかどうかを振り返り、あれば積極的に報告をお願いします。
- 「ヒヤリ・ハット」の報告をもとに、従業者個人はもちろん、従業者全体や事業所として改善策を考えることで、盲ろう者への支援の質を「かけはし」全体として向上させることに繋がります。

参考資料

- We介護:ヒヤリハット活動の前に行うべき2つの基本活動を解説 | 事故防止編(第7回)
<https://kaigo.ten-navi.com/article/22>
- レクリエ:ヒヤリ・ハット報告書の書き方のポイント
<https://recrea.jp/reading/10577/>
- 学研ココファン:介護現場のヒヤリハットとは | 事例や原因・報告書の書き方と記入例まで解説!
<https://www.cocofump.co.jp/articles/kaigo/63/>
- 介護ワーカー:介護現場のヒヤリハットとは! よくある事例と報告書の書き方を解説!
<https://kaigoworker.jp/column/376/>